

# 日南海岸サイクルツーリズム協議会 今後の進め方

1. 今後の進め方	1
-----------	---

令和2年12月23日(水)

# 1. 今後の進め方 ~これまでの取り組みと今後の進め方~

- ◎H27年度の協議会設立以降、サイクリングルートの設定、サイクリングマップの作成・配布、自転車通行空間やルート案内サインの整備方針の検討、試行区間での整備・効果検証を実施。
- ◎R4年度の東九州道(清武南IC～日南北郷IC)の開通に向けて、受入れ環境の充実、サイクリングルートの整備などの各取り組みを推進。

取り組み内容	検討部会	実施主体	H27～R2	R3～R4
<b>日南海岸サイクリングルートの設定</b>			・サイクリングルートの設定	
<b>①日南海岸の実情に応じた自転車通行空間の整備</b> ・連続的な矢羽根設置(コース、主要地までの距離等を明示)	整備部会	道路管理者	・自転車通行空間の整備方針 ・試行区間の整備・効果検証	・改善策の検証 ・自転車通行空間の整備(矢羽根) ・自転車通行空間の整備(道路空間の再配分)
<b>②サイクリストのサポート環境の拡充</b> ・ルート案内サインの設置(右左折部、観光施設、道路勾配等) ・休憩施設の充実(サイクルスタンド、修理工具等の充実)	整備部会	道路管理者	・ルート案内サインの整備方針 ・ルート案内サインの効果検証	・改善策の検証
	企画部会	自治体・民間		・休憩施設の充実
<b>③サイクリストの利便性を高める取組</b> ・サイクルマップ作成 ・利用者にわかりやすい情報発信(HP等) ・公共交通との連携強化 ・利用者が立ち寄りやすい宿泊施設サービス開始 ・レンタサイクルサービス	企画部会	自治体・民間	・ルートの試走 ・サイクリングルートの名称検討 ・サイクルマップの作成・配布	・サイクルマップの配布・更新 ・サイクリングルート・休憩施設等の情報発信 ・公共交通との連携強化 ・宿泊施設サービスの充実 ・レンタサイクルサービス
<b>④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供</b> ・飲食店、温泉施設、宿泊施設等の情報提供 ・道の駅、港の駅等と連携した取組み ・外国人客が宿泊可能な環境の整備推進	企画部会	自治体・民間		・休憩施設・宿泊施設等の情報発信 ・道の駅等との連携強化 ・外国人客等の受入環境の充実・拡大
<b>⑤サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進</b> ・走行会、散走イベント、ツール・ド・南みやざき、グレートアース宮崎・日南海岸ライドなどのサイクルイベントの開催	企画部会	自治体・民間	・サイクルイベントの充実・拡大	・サイクルイベントの充実・拡大
<b>⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組</b> ・サイクルツアーガイドの育成 ・観光協会や観光施設等との連携企画 ・旅行会社とのコラボ企画(パックツアー企画) ・地元(関連団体・店舗・施設等)との連携	企画部会	自治体・民間		・サイクルツアーガイド育成 ・連携企画の充実・拡大

東九州道(清武南IC～日南北郷IC)の開通(R4年度)

※取り組み内容の下段に、内容例を記載。

# 1. 今後の進め方 ～ 今後の実施方針～

部会	今後の実施方針
企画部会	<ul style="list-style-type: none"><li>◎現状の取り組み・課題の整理<ul style="list-style-type: none"><li>・関係機関のサイクルツーリズムに関する取り組みを整理したデータベースを作成。</li><li>・休憩施設(ゲートウェイ・サイクルステーション)候補地の整備に関する確認と調査を実施。</li><li>・アクションプランの取り組み項目に関して課題を整理する。</li></ul></li> <li>◎アクションプランの実施<ul style="list-style-type: none"><li>・アクションプランの着実な実行に向けた目標値の設定と、役割分担・団体等との連携について検討する。</li></ul></li> <li>◎アクションプラン実行費用の算出と、各市、団体において、令和4年度の目標達成に向け財源を確保する。</li></ul>
整備部会	<ul style="list-style-type: none"><li>◎追加の試行区間「伊比井潮風トンネル現道区間」において、改善策での整備を実施。整備後は、改善策を検証し、整備方針を確定する。</li> <li>◎道路空間再配分による自転車通行空間の整備方針の検討【参考①～③】<ul style="list-style-type: none"><li>・外側線外側(路肩等)での自転車通行空間の確保に向け、道路空間の再配分を検討。</li></ul></li> <li>◎整備計画に基づき、自転車通行空間及びルート案内サインの整備を進める。<ul style="list-style-type: none"><li>・整備順位における優先整備ルート(優先順位1、2)を優先的に整備を進める。</li><li>・日南市の市街地部(DID地区)においては、ガイドライン※に基づく自転車活用推進計画を策定し、計画に基づく整備を進める。</li></ul></li></ul>

# 【参考①】道路空間再配分による自転車通行空間の検討 ～再配分のイメージ①～

## ①車線の狭幅員化

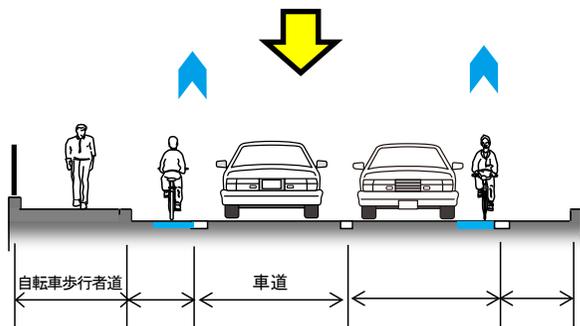
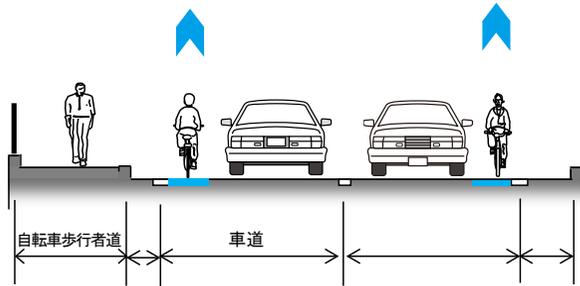
- ・車線幅員が3.25m以上(3.0m以上)の場合

※車線の狭幅員化が再配分の案となった場合は、東九州自動車道供用後(R4年度以降)の交通状況を確認し、実施を検討



車線幅員3.25m(3.0m)へ縮小  
(路肩拡幅)

※3種2級、4種1級の必要車線幅員:3.25m  
3種3級、4種2級の必要車線幅員:3.0m  
(出典:道路構造令)



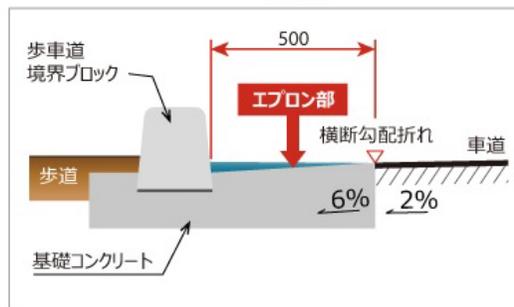
## ②側溝改良

- ・L型街渠等による路肩の阻害がある場合

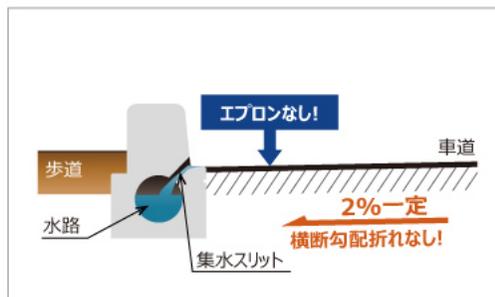


側溝改良(L型街渠⇒ライン導水ブロック等による路肩拡幅)

### L型街渠



### ライン導水ブロック

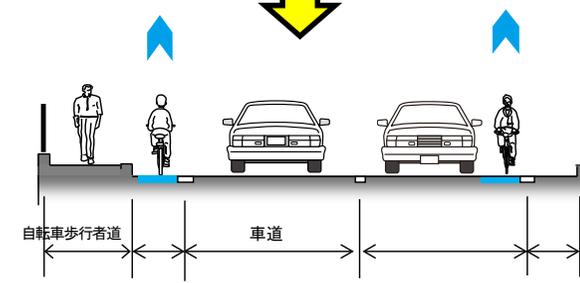
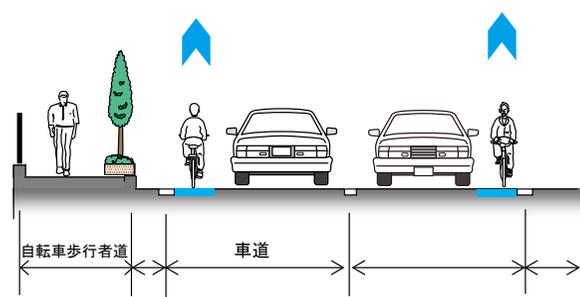


## ③植栽帯の削減

- ・植栽帯がある場合



植栽帯削除  
(路肩拡幅)



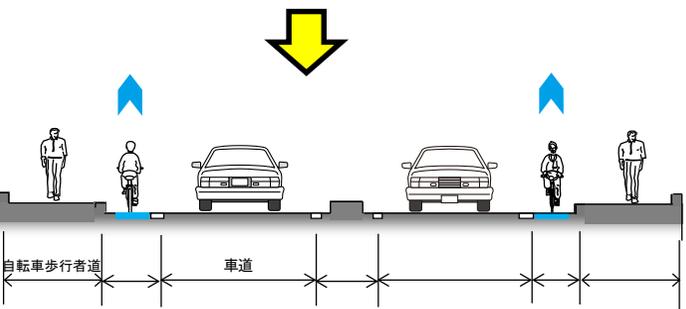
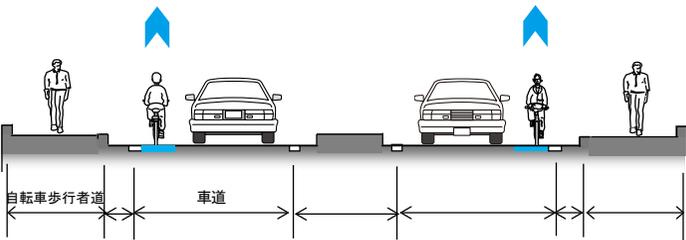
# 【参考①】道路空間再配分による自転車通行空間の検討 ～再配分のイメージ②～

## ④中央帯の縮小

- ・中央帯の幅員が1.75m(1.0m)以上の場合

### 中央分離帯1.75m(1.0m)へ縮小 (路肩拡幅)

※3種の必要幅員:1.75m(特例値:1.0m)  
4種の必要幅員:1.0m  
(出典:道路構造令)

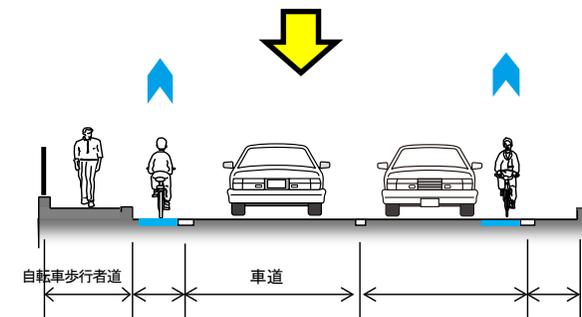
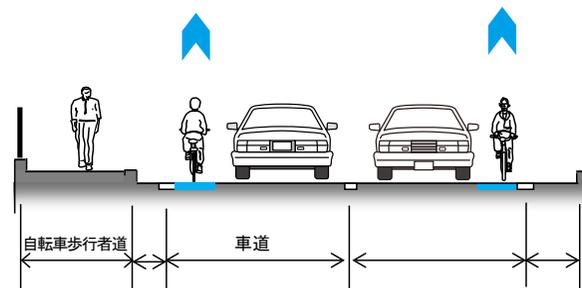


## ⑤歩道幅員の縮小

- ・歩行者交通量が少ない
- ・歩道幅員が3.0m以上  
(自転車歩行者道の必要有効幅員)
- ・電線共同溝が未整備

### 歩道幅員3.0mへ縮小 (路肩拡幅)

※直轄国道における歩行者平均交通量:市街地(DID)722人/12h、市街地(その他)73人/12h、平地34人/12h、山地27人/12h(出典:道路構造令)  
※歩行者が少ない自転車歩行者道の必要有効幅員は3.0m以上(出典:道路構造令)

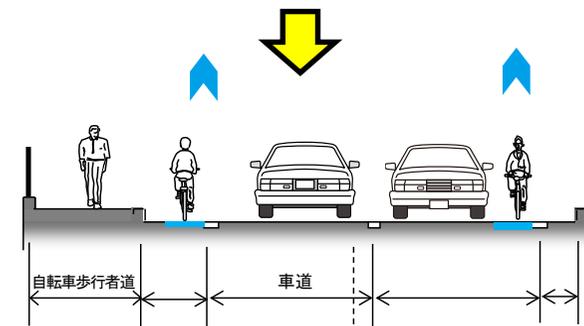
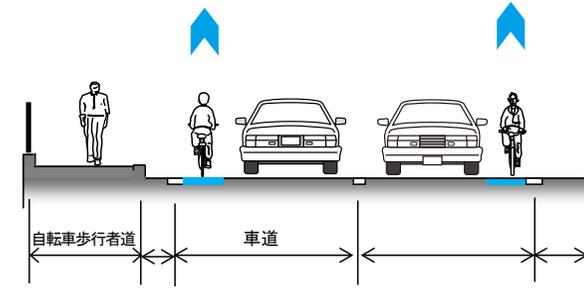


## ⑥路側帯の縮小(中央線変更)

- ・路側帯が0.75m以上の場合

### 路側帯を0.75mへ縮小 (路肩拡幅・中央線変更)

※路側帯の必要幅員:0.75m  
(出典:道路交通法施行令第一条の二第2項)





# 【参考③】道路空間再配分による自転車通行空間の検討 ～検討フロー(素案)～

